

# 「二セ投稿・誤情報」に要注意！

SNS上には、わざとウソ（デマ）情報を発信する「フェイク投稿」が増えています。「注目を集めたい」「話題になりたい」という動機で作られるこれらの投稿は、多くの人を混乱させ、時には大きなトラブルにつながることも…。事実かどうかの確認もせず、投稿されていることを信じて拡散すると、自分がウソを広める“加害者”になってしまうこともあります。正しい情報を見極める力をつけましょう。

## ✓ 「二セ投稿」の事例

### 災害時のデマ情報

地震や台風の直後、「〇〇駅が水没」「ライオンが街に逃げた」など、不安をおおるような投稿がいくつもSNS上に広まった。デマ情報も混ざっていたが、災害の直後だったため混乱が起こった。



### 商品のウソ写真

「買った商品に虫が混入していた」という写真付きの投稿があり、それはすぐに拡散された。その後、投稿者の自作自演だったことがわかったが、その商品のイメージダウンにつながった。



## ✓ 自分が「加害者」になる可能性

SNSで二セ投稿を見て、「本当かも」と信じて拡散してしまうと、自分自身がウソの情報を広めた“加害者”になることがあります。悪気がなかったとしても、他人を傷つけたり、混乱を広げたりすると、責任を問われる可能性もあります。正しい情報かどうかを見極める目を持ち、軽い気持ちでの拡散を避けましょう。



## ✓ 「二セ投稿・誤情報」に騙されないために

SNSで見た情報をすぐに信じるのではなく、「誰が言っているか」「どこで発信されているか」など、必ず情報源を確認しましょう。信頼できるニュースサイトや公的機関などの発信かどうかポイントになります。情報の根拠があるかをしっかり見極めましょう。



## クイズに挑戦してみましょう！



混乱を招く「二セ投稿・誤情報」には注意が必要です。次の3つの場面での行動は正しいでしょうか？  
正しい場合は○、間違っている場合は×で回答してみましょう。



Q1	SNSで見た情報は、多くの人ギシェアしていれば信じてよい。	<input type="checkbox"/>
Q2	災害時はウソの情報が回ることがあるので、どの情報が本当か特に気をつけるとよい。	<input type="checkbox"/>
Q3	二セ投稿を信じて拡散してしまうと、自分がトラブルの原因になることがある。	<input type="checkbox"/>

答えは・・・ Q1:× Q2:○ Q3:○ です！